

## 令和3年度特色ある学校づくり推進事業報告書

### 『知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざした体験活動』

あま市立伊福小学校

## 1 目的

### (1) 豊かな心を育む活動

- ・ 合唱発表会での表現活動などを通して、感性を豊かにし、表現することの喜びを味わわせます。
- ・ 専門家や地域の人材を活用して、林間学校をより充実した活動にします。
- ・ 特別支援学級において、音楽療法を取り入れ、児童の情操を育むだけでなく、教師もその指導技術を学ぶことで指導力の向上を図ります。

### (2) いつでもどこでもだれでもどの子もICT

- ・ ICT環境を活用して、教員の授業力の向上、児童の学力向上・定着をめざします。
- ・ 地域の人材を活用してICT活用、環境整備について研修を行います。

## 2 内容

### (1) 豊かな心を育む活動

#### ア 合唱発表会

合唱発表会は、本校の特色ある行事として定着してきましたが、昨年度に続き、コロナ禍で中止となりました。地域および本校の感染状況が小康状態であるときは、放送・音響機器を活用しリモート全校合唱に取り組みました。各学級の合唱映像を編集し、全校合唱の動画を作成し、視聴しました。音楽の時間だけでなく毎日の朝の合唱練習も、児童の心を豊かにするよい機会となりました。

#### イ 林間学校の充実

コロナ禍で2度の延期となりましたが、11月に林間学校を実施しました。5年担任と児童の実行委員を中心に充実した林間学校となりました。愛知キャンプカウンセラー協会所属の2名のカウンセラーにキャンプファイヤーの準備・運営の支援を依頼しました。児童の心に残る林間学校となりました。



【キャンプファイヤー】

#### ウ 特別支援教育の充実

音楽療法士の若山先生を講師に招き、年間で12回の音楽療法を行いました。数年前から実施している継続事業であり、本校の特別支援教育の特色でもあります。この音楽療法を続けることで、児童が明るく元気に表現する一面が見られるようになりました。新たな自分の発見にもつながっています。また、教師もともに参加することで指導法や楽器の効果的な使用法などを学ぶよい機会となりました。

## (2) いつでもどこでもだれでもどの子もICT

### ア iPad周辺機器の整備

教室で活用する際のiPadスタンドを各教室に整備しました。スタンドの効果で、iPadを実物投影機として活用したり、Zoom会議では教室の全体の様子を撮影したりするなどの実践が展開できました。また、タッチペンを導入したことにより、iPadに書き込む精度が増し、文字の記入や表の整理などで活用できました。

### イ ICT活用研修講師

コロナ禍で日程調整ができず研修を開催することができませんでした。専門家に指導していただく機会は貴重なので、コロナ収束後はぜひ実現したい事業です。

## 3 評価

- ・ コロナ禍で制限はあったものの朝の合唱練習を通して、自己表現力、歌唱力などの向上とともに、豊かな心を育みました。動画編集によって実現した全校合唱が心に残りました。
- ・ iPadスタンドやタッチペンが教師にとっても児童にとっても、効果的で授業展開の幅が広がりました。

## 4 課題

- ・ コロナ禍で外部講師を招くことが難しいことがありました。専門家の指導は、児童にとっても教師にとっても学ぶことが多い機会です。今後も実施していきたいと考えています。
- ・ ICTを活用した授業、学校経営が一層求められる時代になりました。しかし、よりよい教育活動を展開するには、教職員が研鑽を積み重ねることが大切です。ICTだけでなく、学級経営、教科指導、特別支援教育についての研修の充実を図りたいです。